

山梨は、  
挑戦と近い。  
未来と近い。

## HIGH QUALITY YAMANASHI News Letter

第 15 号

2026 年  
2 月 10 日 (火)  
発行

# 山梨発！社会課題を可能性に変える、ゼブラの挑戦

山梨県では、ゼブラ企業の育成を支援する「YAMANASHI Impact Challenge」を展開しています。今回は、山梨発のゼブラ企業として注目を集め KEIPE 株式会社の代表、赤池侑馬氏に、企業の歩みや今後の事業展開について伺いました。

## 居場所づくりの原点は教壇にあった

赤池氏の原点は「教育」の現場にありました。教師として働く中で、「一人ひとり真正面から向き合いたい」という思いが強くなり、「ここで働き続けても子どもたちの状況は変えられない」と感じた赤池氏は、「学校をつくるしかない」と教職を離れることを決意。その後、スタートアップや海外での経験を重ねながら社会の仕組みを学び、2016年には障がい者就労支援の立ち上げに携わります。

そこで「普通に仕事ができる人の多さ」に社会の可能性を見いだし、翌2017年、故郷・山梨で KEIPE を創業しました。

以降、「障がいを特別なものにせず、誰もがそこに居ていい社会」を目指して事業を展開。就労支援から始まった KEIPE は、現在では地域商社や飲食、小売など、社会と地域をつなぐ多様な事業へと発展しています。



赤池侑馬氏

## 地域が背中を押す、挑戦者のための土壌

U ターン直後は誰も知り合いがいなかったという赤池氏。山梨では相談すればすぐに次の人につながり、支援のネットワークが驚くほど速く広がったといいます。「行政も企業も『若い人の挑戦を応援したい』という思いが強い。スピード感と一体感は山梨の強みです」。

また、赤池氏は地域課題が多く残る山梨を「ブルーオーシャン」と捉えています。「誰も手をつけていない領域が多いため、工夫次第で事業として成立する余白が大きい。だからこそ、山梨から多くの社会起業家を輩出したい」と次なるビジョンを語ってくれました。

詳しい記事は  
こちらから→

HIGH  
QUALITY  
YAMANASHI



赤池 侑馬（あかい  
け ゆうま）氏  
KEIPE 株式会社  
代表取締役

1990 年生まれ。山梨県昭和町出身。2012 年 3 月、千葉大学教育学部卒。1 年間教員として働いたのち、現場での対応に限界を感じ、「自分で学校をつくる」と一念発起。都内のスタートアップ企業や海外での新規事業立ち上げ等に携わり、学校づくりに生きる経験を積む。2017 年に KEIPE を創業。障がい者就労支援を軸に地域に根差したサービスを複数展開している。

山梨県の様々な魅力をお届けする県公式のブランド情報発信サイト  
『ハイクオリティやまなし』はこち  
<https://hq.pref.yamanashi.jp/>



【主担当課】山梨県 新価値・地域創造推進局 新事業チャレンジ推進課

(TEL 055-223-1514)

[発行] 山梨県地域ブランド推進 CFT (クロス・ファンクショナル・チーム ※)  
(事務局) 山梨県 高度政策推進局 地域ブランドグループ TEL 055-223-1584

※ 組織の枠を超えた部局横断チームを編成し、相乗効果や新たな価値を生み出すブランドプロモーションに取り組んでいます